

別添

農山漁村振興交付金事業実施チェックシート

令和5年度農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）

（農山漁村発イノベーション推進事業（農泊推進型）のうち農泊地域高度化促進事業）

事業メニューの選択

<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((1)インバウンド対応)
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((2)ア 高付加価値対応(食))
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((2)イ 高付加価値対応(景観))
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((3)ワーケーション対応)

地域・事業実施主体の概要

<input type="checkbox"/>	事業実施主体(地域協議会) 構成員数(団体数)	0名	0団体
<input type="checkbox"/>	うち宿泊関係者数(団体数)	〇〇名	〇〇団体
<input type="checkbox"/>	うち飲食関係者数(団体数)	〇〇名	〇〇団体
<input type="checkbox"/>	うち体験プログラム提供者数(団体数)	〇〇名	〇〇団体
<input type="checkbox"/>	上記以外の連携団体の有無 (有の場合は、連携団体の構成員数(団体数))	〇〇名	〇〇団体

※団体数は構成員が所属する組織数とする。

課題に対する対応(営業の最低継続期間)

<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業は、事業完了後5年間の営業継続を行う必要	令和 〇〇 年
--------------------------	---------------------------------	---------

目標

<input type="checkbox"/>	目標及び評価指標(農泊地域高度化促進事業)
<input type="checkbox"/>	インバウンド対応
<input type="checkbox"/>	高付加価値化対応(食)
<input type="checkbox"/>	高付加価値化対応(景観)
<input type="checkbox"/>	ワーケーション対応

※注4に示す目標項目を設

目標項目	現状 令和〇年度	途中年度 令和〇年度	目標年度 令和〇年度	目標設定の考え方
評価指標項目	現状 令和〇年度	途中年度 令和〇年度	目標年度 令和〇年度	評価指標設定の考え方

※ 数値は事業実施主体構成員の数値の単純合計とする。

<input type="checkbox"/>	【参考】						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>現状 令和〇年度</th> <th>事業着手5年目 令和〇年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間宿泊者数(人泊)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標項目	現状 令和〇年度	事業着手5年目 令和〇年度	年間宿泊者数(人泊)		
目標項目	現状 令和〇年度	事業着手5年目 令和〇年度					
年間宿泊者数(人泊)							

- ※1 事業期間が1年間の場合は途中年度を空欄とし、目標年度を事業完了年度である令和5年度とする。
- ※2 「目標設定の考え方」について、客観的な数値(例: 県の観光計画、近年の旅行者数の伸び、インバウンド需要の伸び(LCC就航、クルーズ船入港計画等)、観光インフラ整備状況)を基礎として記載することとする。また、参考となる資料は別添として添付することとする。
- ※3 評価指標については、飲食店の来店者数、直売所の来場者数、体験プログラム数等の目標の達成に向けた評価項目を複数設定すること。
- ※4 それぞれの対応ごとに以下の数値目標を設定すること。
  - (1)インバウンド対応: インバウンドによる地域の売上高(万円)及び延べ宿泊者数(人泊)
  - (2)ア 高付加価値化対応(食): 新たに開発したメニュー等の売上高(万円)及び延べ利用者数(人)
  - (2)イ 高付加価値化対応(景観): 新たに開発した体験プログラムの売上高(万円)及び延べ利用者数(人)
  - (3)ワーケーション対応: ワーケーションによる地域の売上高(万円)及び延べワーケーション利用者数(人)

農泊推進事業・人材活用事業・高度化促進事業(施設整備事業分を除く)

【地域の売上高】

単位:万円

構成員名	宿泊・飲食・体験	現状	途中年度	目標年度	食材提供農業者等名
		令和○年度	令和○年度	令和○年度	
合計		0	0	0	

※農泊の取組に関わる構成員毎の宿泊、食事、体験の内訳を整理すること。

※地域内で食材提供をしている農業者等がいれば整理すること。

【延べ宿泊者数】

単位:人/泊

構成員名	宿泊	現状	途中年度	目標年度	備考
		令和○年度	令和○年度	令和○年度	
合計		0	0	0	

※農泊の取組に関わる構成員の宿泊施設毎の延べ宿泊者数を整理すること。

※1 事業期間が1年間の場合は途中年度を空欄とし、目標年度を事業完了年度である令和5年度とする。



事業計画とその経費の内訳(※ 積算資料は必ず添付してください。)(高度化促進事業用)  
取組内容と主な経費(1年目)

(単位:千円)

取組内容	総事業費	本交付金	他の補助金等	自己資金	備考
1. 農泊地域高度化促進事業	①=②+③+④	②	③	④	
(1)インバウンド対応					
小計	¥0	¥0	¥0	¥0	
	¥0				
	¥0				
(2)ア高付加価値化対応(食)					
小計	¥0	¥0	¥0	¥0	
	¥0				
	¥0				
(2)イ高付加価値化対応					
	¥0				
	¥0				
	¥0				
(3)ワーケーション対応					
小計	¥0	¥0	¥0	¥0	
	¥0				
	¥0				
	¥0				

※交付金を使用する期間の主な取組内容と経費について年度ごとに整理する。

※漏れのないように記載すること。

- ※ 支援対象とならない経費の例
- 活動を維持するための運転資金、初期投資費用(事業完了後も使用する備品(キャッシュレス環境、Wi-Fi環境、多言語表示板を除く)、調度品、厨房用品等)及び汎用性の高い物品購入費用等(農泊地域高度化促進事業の一部の備品等購入費を除く)。
  - 整備した施設の運用に要する経費。
  - ソフト事業における施設整備事業に要する経費(農泊地域高度化促進事業の一部を除く)。
  - 事業実施主体及びその構成する団体の経常的運営に要する経費(協会会構成員や通年雇用する事務補助員の人件費等)。
  - このほか、事業内容により国庫負担が適当でない判断される経費。

注1 取組内容は提案書の「解決される地域課題」に対する対応(事業実施内容)と整合を図ること。  
注2 「他の補助金等」又は「自己資金」がある場合は、備考欄に資金の性格(相手方、資金の受入時期等)を必ず記載すること。  
注3 事業期間が複数年の場合、年度毎に整理すること。

事業計画とその経費の内訳(※ 積算資料は必ず添付してください。)(高度化促進事業用)  
取組内容と主な経費(2年目)

(単位:千円)

取組内容	総事業費	本交付金	他の補助金等	自己資金	備考
1. 農泊地域高度化促進事業	①=②+③+④	②	③	④	
(1)インバウンド対応					
小計	0円	0円	0円	0円	
	0円				
	0円				
	0円				
(2)ア高付加価値化対応(食)					
小計	0円	0円	0円	0円	
	0円				
	0円				
	0円				
(2)イ高付加価値化対応(景観)					
小計	0円	0円	0円	0円	
	0円				
	0円				
	0円				
(3)ワーケーション対応					
小計	0円	0円	0円	0円	
	0円				
	0円				
	0円				

注1 取組内容は提案書の「解決される地域課題」に対する対応(事業実施内容)と整合を図ること。

注2 「他の補助金等」又は「自己資金」がある場合は、備考欄に資金の性格(相手方、資金の受入時期等)を必ず記載すること。

注3 事業期間が複数年の場合、年度毎に整理すること。

事業メニューの選択

<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((1)インバウンド対応)
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((2)ア 高付加価値対応(食))
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((2)イ 高付加価値対応(景観))
<input type="checkbox"/>	農泊地域高度化促進事業((3)ワーケーション対応)

過去の農泊推進事業の取組の概要

農泊推進事業の実施年度		○	年度	～		○	年度
当時の事業実施主体名							
実施要領別表2において農泊地域高度化促進事業の選定要件を踏まえた取組を記載							